

丹波古文書倶楽部会報  
古文書かわら版

第14号

事務連絡(高札場)

☆ 十月例会の休講について

10月14日(土)分は木村先生の  
本務の都合で、休講となります。  
年度内の代替例会開催の可否に  
ついては、木村先生のご都合や会場  
の確保、会員の参加体制等を勘案し  
て、今後の検討課題とします。

☆ 十一月例会

日時 11月11日(土)  
午前10時  
会場 柏原住民センター  
会場準備(敬称略)  
蘆田榛五、岡田康雄、岡田君代

◎ 資料#21 京都大火日記配布中  
矢持副代表から受取(メール等)。

◎ 29年度フィールドワークの予告

10月14日(土)午後一時半  
現地集合 山南町慧日寺  
詳細は募集チラシ参照  
FW実行委員会小西さんから内容  
と申込の説明

◎ 8月茶話会の報告

8月9日(水) 柏原自治会館  
参加者10名で情報交換

発行・編集者 延陽伯こと岸孝明  
発行所 丹波古文書倶楽部  
連絡先 090-8882-5567

情報発信(みちこるべ)

☆ 歴史TAKEDA

主催 竹田地区自治振興会  
会場 竹田コミュニティセンター  
第二回 9月30日(土)午前10時  
12時 テーマ「宮神社の籠」  
講師 ナビゲータ山内順子さん  
参加費500円、資料(カラー)お  
菓子お茶付 申込不要 問合先  
青木さん(08038257513)

☆ 歴史TAMBA

主催 柏原自治協議会  
会場 たんば黎明館  
9月22日(金)10時半~12時  
講師 おもてなし English 講師  
久下ゆか子氏発表テーマは おもて  
なし English in TAMBA  
参加費300円、申込先柏原自治  
協議会(0795730198)

☆ 丹波市教委 歴史講座

主催 丹波市教委文化財課  
第3回 10月15日(日)13:30  
~15:00  
会場 ライフピアいちじま

講演 甲世水上郡の寺院文書を  
読む 講師 神戸大学大学院人文  
学研究科博士課程 小野塚航一氏

自己紹介(ロト)

◆ 東女が兵庫県に移り住むと、

三田市在住 湘南式部 こと  
桜井三枝子様

六甲台の急峻な坂道を上り下り  
しながら、この一年半に起きた急激  
な身の変化に我ながら驚いている。  
事の発端は昨年二月、ネット検索で  
是三田市界隈の古文書サークルが  
現れず、淀川図書館主催の「古文書  
学習会」入門篇「松下正和先生(当  
時 近大姫路大学教員)の講座」にヒッ  
トし、喜び勇んでその講義を受講し  
た。松下先生に三田市に近い丹波古  
文書倶楽部(当時 川口利和代表)を  
紹介され、四月から新入り受講生  
として参加した。

木村修二先生による 高見對馬  
守田緒一の指導でスタートした。日  
本人の私が和文なのに何も読めな  
い!なのに諸先輩はスラスラと読  
み下していらつしやる。どこから手  
を付けたら良いのだろう。どうやっ  
たら読めるようになるのだろう。  
オロオロ。木村先生は「自分の親世  
代のような受講生に屈することな  
く威厳ある教授法で接してくださ  
る。シルバー世代は昔の学生時代さ  
ながら、上田遣いに自分の番が当た  
るのをびくびくしている。正午、終  
了後の緊張緩和は空腹を伴い一斉  
に爆笑する。

当倶楽部の魅力は、柏原のみなら

ず春日、市島、青垣など各地から受  
講者を集め、各市民センターで講座  
が開催されるので、広く丹波地域と  
人を知る機会を得ることだ。同時  
に茶話会や新年会があり、魅力的  
な受講生の皆さんと和気藹々と語  
り合える機会がある。これは、劣を  
厭わない幹事さんたちの「尽力と  
思」。

私は湘南地方茅ヶ崎市出身の  
東女(あずまおんな)で、大阪万  
博の数年後、夫の仕事の都合で関西  
に移転した。日本の経済成長期で、  
枚方市樟葉在住時は京都に近いこ  
ともあり、裏千家茶道を学びつつ京  
都見学を堪能した。平成元年に夫  
の勤務先が開発中の三田市ニュー  
タウンに移り、自宅も同時に同市内  
にゲットした(倍率30倍)。丹波篠  
山に向かって車を走らせれば、日本  
の佳き故郷の原型を伝える風景に  
遭遇し魅惑された。京都の公家や  
武士の歴史と異なり、丹波篠山地  
域は私の知らない日本史の中世、近  
世、近代の古刹、陣屋、庄屋、代官、  
豪農の歴史がひそやかに語り掛け  
てくるようだ。

自身の定年退職を目前に、つい  
に山南町に憧れの古民家をゲット  
した。購入と改築修理で退職金を  
使ってしまったが、むしろ後悔はな  
い。ただ、メンテナンスは一苦労だ。  
当倶楽部で知り合った山南町のた  
そがれ式部さんに貴重な生活の知  
恵を伝授されながら鹿や猪を相手  
に闘い、また、博識な延陽伯氏や三

軒家満成氏の導きで黒田庄町を知った。

昨秋10月、木村先生から神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター主催公開講座「まちづくり地域歴史遺産活用講座」のチラシをいただき、三田市から高速バスを使えば100分ほどなので、2日間を受講した。完全にノックアウト。魅力あふれる講師陣がこれでもかと古代、中世、近世近代、現代の順に我々を誘惑し、歴史資料の取り扱い方や災害時の古文書レスキューの重要性を解き明かす。私は魅せられてしまった。困った。

大学教員 定年退職後はのんびりと古民家生活を堪能しようとしていたのに、いつの間にか、この四月から上記研究科の研究生として通学をし始めている。学部時代は西洋史、大学院(修士)時代は文化人類学、大学教員としては文化人類学・多文化共生及び基礎ス・ヘイン語を担当していたのに、まるで異世界へと誘われてしまった。恐るべきは、日本史の魅力を伝授する神大の教官陣。松下先生は今春より神戸大学に勤務され、時折木村先生にキャンパスでお会いする。研究生期間は一年間なので、あと半年も通学すれば、晴れてゆとりある時間を過ごせるかもしれない。むしろ、丹波古文書倶楽部の学習は続行。肝心の古文書を学ぶ動機?それはまた、別の機会にでも。

特別寄稿(読売)

丹波古文書倶楽部の歩み(2)

前代表 川口利和様

初年度(2011)は古文書倶楽部参加の契機等についてのアンケートを実施しました。その主な結果は1. 古文書に興味を持った理由? ①江戸時代の古文書が読めたら楽しいから・23人(43%) ②住居地域の音から続いている出来事を理解したいから・18人(34%) ③歴史が好きだから・11人(21%)でしたが、その他の理由としては・古い観光地を楽しみたい、ボケ防止、地域活性化のツール、でありました。

また、2. 自由意見では①全くの素人です、②努力が必要と実感しました、③先輩が古文書解読を楽しくておられる姿を拝見し、少し学習しようと思ひ参加させていだきました、④丹波地域の一時代前の様子など知識の中に取り入れられたいと高齢(86)ですが自分なりのペースで参加したい、などです。主な参加契機をまとめると、強引かもしれないですが、「歴史を踏まえたい地域のこともっと知るための手段」と考えてのことでしょうか。また、多くの方が、発当初から古文書くずし字が読めるから参加ではなく、読めないから読めるよ

うになろうということに参加されています。

2012年度は前年度会費が低廉すぎるとの反省の下、会費3000円・年から5000円・年にしました。そのためではないと思うのですが、会員数が41名と前年度より8名減となりました。また、会員への連絡、住民への広報、同種他団体とのコミュニケーション等の手段として、ホームページを立ち上げました。インターネット環境を導入しているパソコンやスマホをお持ちの会員がどの程度いらっしやるか不明でしたが、いずれば使用できる会員が多くなってくるであろうとの見込みでの発信です。現在もさまざまな情報を発信されていると思ひますので是非定期的にご覧いただければ幸甚であります。

事業は①例月講座(現行と同様に、原則毎月第2土曜日、10:00~2時間、年12回、会場は主に柏原市民センター)、②フィールドワーク(10月・講師:棚原パワーアップ事業推進委員会(春日町)役員、③忘年会(12月)、④総会(3月)で、先ずは年間活動の安定した開催に向けた運営でありました。

フィールドワークの内容は棚原公民館での棚原パワーアップ事業推進委員会の活動状況、同公民館保存古文書の解説・鑑賞、棚原天満宮の縁起等解説・現地視察でした。

棚原パワーアップ事業推進員の方々には公民館玄関での行事看板設置、会場設営、会場・駐車場・現地視察などのお手伝い要員手配等、心温まるお世話をいただきました。同委員会会員間の意思疎通の充実ぶりには目を見張るものがあり、素晴らしい対応例を見せていただきました。

※掲載写真はできる限り個人が特定できないようにの思いで選定しましたが、掲載の写真となりました。寛大なる心でご容赦願います。

★フィールドワークでの場面(2012/10)

